

91項目の新年度予算要望書提出 日本共産党上越地区委員会と上越市議団

日本共産党上越地区委員会と日本共産党上越市議団は12月27日、村山市長に対して新年度予算要望書を提出しました。

この日は、日本共産党議員団の上野、橋本正幸、橋爪の3議員と平良木前市議が参加、八木智学総務管理部長に要望書を手渡し、懇談しました。

提出にあたって、私からは、「この間、市民の皆さんから寄せられた要望や市議会で提案させてもらったものを中心にまとめた。積極的に受け止めてほしい」と訴えました。

八木部長は、「しっかりと受け止める。対応できる部分は対応して

いきたい」と答えました。

懇談はわずかな時間ではありましたが、最近、大問題となっている福祉医療関係で意見交換しました。八木部長からは公立・公的病院をめぐる厚労省の動きで率直な感想を出してもらいました。今回は市内の3病院の名前が挙げられています。「行政改革」等で譲れないところも多いのですが、市と力を合わせることでできることは大いに力を合わせたいと思っています。

今回の予算要望で取り上げたのは11の柱で91項目にのぼります。全文は市議団のホームページや私のホームページに掲載しますが、ここでは、そのうちの主なものを紹介します。



【キクザキイチゲ】再掲。春に咲く野の花の代表的存在であるキンポウゲ科のキクザキイチゲ。元日、雪の中で寒そうに咲いていました。たぶん、暖冬の影響で、12月の下旬に咲いたものと思われます。花言葉は「静かな瞳」「追憶」。吉川区代石にて撮影しました。

新春街宣スタート



今年は4月に市議選があります。また、年内にも衆院選があるのでと言われています。私は「市民の命と暮らしを守るために力を合わせ頑張りましょう」と訴えています。



●桑取地区や各立区をはじめ、台風19号等によって甚大な被害が生じた道路や農地・農業施設等の被災箇所について、農作業等に間に合うよう、早急に復旧に取り組むこ

●市が補助金を出している誘致企業はもちろん、市内の企業に対して、非正規労働者の正社員化を働きかけるなど、安定した雇用のための施策を講じます。



【年末ジャンボ】同じ名前でも、こちらは豆餅。縦13センチ、横20センチという大きさです。大きくても味は普通の大きさのものと同じです。美味しくいただきました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1941 2019.1.5

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五八九回

高齢者講習

歳を重ねると、いろんなことがありますね。私は三か月後に七〇歳を迎えますが、七〇歳にならないうちに高齢者講習の案内ハガキが来てびっくりしました。

正直言うと、「まだ、七〇になっていないのに何かの間違いじゃないか」そう思っただけです。でも、間違いないです。道路交通法にある高齢者講習のことがよく知らなかっただけのことでした。運転免許更新前には高齢者講習を受ける義務があって、更新時には高齢者講習終了済みの証明書が必要だったのです。

高齢者講習の日は一月二八日。ハガキには講習の日時が書かれていて、都合の良し悪しを自動車学校へ連絡することになっていました。「この頃なら予定通り講習を受けられる」と判断し、返事をしました。

高齢者講習の当日、私は講習の会場である柿崎自動車学校に初めて行きました。免許を取る時に世話になった学校ではないかと思われるかも知れませんが、自動車の運転免許は大学を卒業した一九七二年（昭和四七）六月、個人指導で取得したので、自動車学校に通っていませんでした。

講習会場には私のほか、同じ年齢の男性が一人、女性が四人参加していました。女性のうち二人は明らかに見たことのある顔でした。でも、一回会っただけで強く印象に残るレベルの特徴がある人ではなく、どこで会ったか思い出せません。それがずっと気になりました。

講習会では、まず高齢者が安全運転するためのビデオを全員で見、その後、二組のグループに分かれ、決められたコースを運転しました。

私のグループは三人。私以外の二人は女性でした。コースまわりは合格、不合格がつくわけではなかったのですが、やはり緊張

しました。というのも、すでに高齢者講習を受けた人から、免許を取る時に苦戦したスクランクや車庫入れもある、そう聞いていたのです。

コースまわりに使う乗用車は普通車でした。普段、軽乗用車に乗っている者としては、普通車の車体は広く、長いとあって、運転感覚が微妙に違います。でも、乗った時点で、「まあ、ゆっくり走れば問題ないだろう」という気持ちになれました。

後から考えると、それが良かったのかも知れません。

まず第一難関、車庫入れ、大きく前に出て、後ろを見ながらバックすると、丁度真ん中にピタリと止まりました。100点です。日頃、曲がったり、ナナメに止まったりするものですから失敗を覚悟していたのですが、杞憂に終わりました。

もうひとつの難関、スクランク。これも脱輪することなく、無難にこなしました。

講習で一番問題だったのは視力です。視力検査では夜間視力、動体視力とも思っていた以上に低い数値でした。特に動体視力は速度30km/hで0.1であり、がっかりでした。これだから、私の車の前を横断するタヌキに気づかないことがあるんですね。

目に関しては視野検査もありました。この検査で初めて確認できたのは、左右の目にある盲点の存在です。前方一五度ほどの右または左にあるんですね。実際に確認できたことがじつに新鮮でした。

こうして、高齢者講習は無事修了したのですが、運転免許証更新時に必要だという高齢者講習修了証を同日、紛失して大騒ぎとなりました。どこにしまいかんたのかわからなくなりました。私が普段使っている車の左の引き出しの中から見つけたのは何と、三三日後でした。大事にしまったことをどうして忘れたのか……。

年末の三八市、正月用品購入等で賑わう

ニュースフラッシュ



昨年最後の三八市は冬風と寒さに襲われました。でも、正月用品を求める人たちなどで賑わい、「1年、ありがとうね」などという言葉が交わされていました。

店を出している人の中には、寒さ対策で、車の中で商売している人、七輪で暖をとっている人もいました。七輪は心まで暖まりますね。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月25日(水)	1月1日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.050	0.050

公職選挙法、あれこれ

●選挙区内の年賀状については、年賀状をもらった場合に返信する時だけ許される、しかも手書きでなければならぬ。公職選挙法にこういう定めがあります。

上越市議をしている私の場合、1日は市内在住の人から来た年賀状の返信で大忙しとなります。今年は深夜2時までかけて返信を書き続けました。

●公職選挙法に基づく選挙が終わった後、発行する文書について

も「おれの言葉を書いてはいけない」という定めがあります。ただし、配布対象者が後援会員だけというような内部文書の場合は禁止されていません。また、選挙結果について、談話などの形でコメントすることも適法とされています。

4年前、ある自治体の議員選挙後、おれの言葉が入った文書が手配りされ、「丁寧なもんだ」と話題になったということです。しかし、これも違法だったのです。